

1 実施目的

令和3年度「情報モラルリーフレット」を配付した仙台市立小中学校の中から抽出校を選定し、抽出校全児童生徒及びその保護者にアンケート調査を行い、活用状況等を分析することで次年度以降の活動のあり方を探る。

2 アンケート実施内容

- (1) 実施時期 12月中旬～1月中旬
- (2) 実施対象 小学校3校・中学校3校の全児童生徒及びその保護者
- (3) 実施方法 Google forms におけるウェブアンケート（任意）
- (4) アンケート項目

| 児童生徒            | 保護者               |
|-----------------|-------------------|
| 属性（学校名・学年）      | 属性（お子さんの学年）※複数回答可 |
| 問1 内容はよくわかったか   | 問1 分かりやすかったか      |
| 問2 おうちの人と話をしたか  | 問2 親子で話すことができたか   |
| 問3 詳しく知りたいと思ったか | 問3 詳しく知りたいと思ったか   |
| 問4 気を付けようと思ったか  | 問4 気を付けさせたいと思ったか  |
| 問5 ルールを作ったか     | 問5 ルールを作ったか       |
| 問6 自由記述         | 問6 自由記述           |

|   |  |
|---|--|
|  |  |
|---|--|

(5) 実施状況

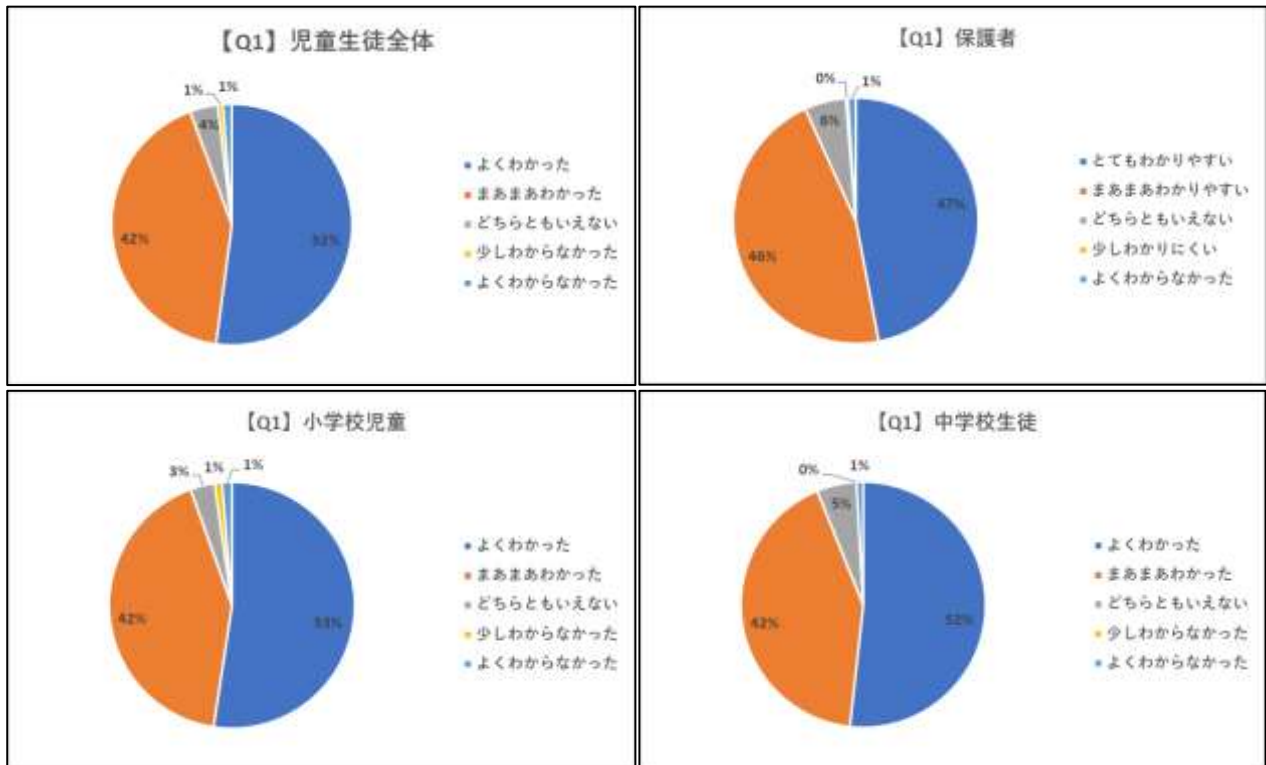
| 小1  | 小2  | 小3  | 小4  | 小5  | 小6  | 中1  | 中2  | 中3  | 保護者  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 88名 | 48名 | 47名 | 44名 | 38名 | 46名 | 62名 | 29名 | 24名 | 385名 |

### 3 アンケート結果（令和4年1月20日正午締切）

#### (1) リーフレットの内容の分かりやすさ

児童生徒 Q1 リーフレットの内容はよくわかったか（おうちの人の説明でわかったか）

保護者 Q1 リーフレットは保護者にとって分かりやすかったか



リーフレットの内容について「よくわかった・まあまあわかった」と肯定的に回答した割合は、全体で94%、小学校児童95%、中学校生徒94%で、内容は概ね伝わったことが分かる。

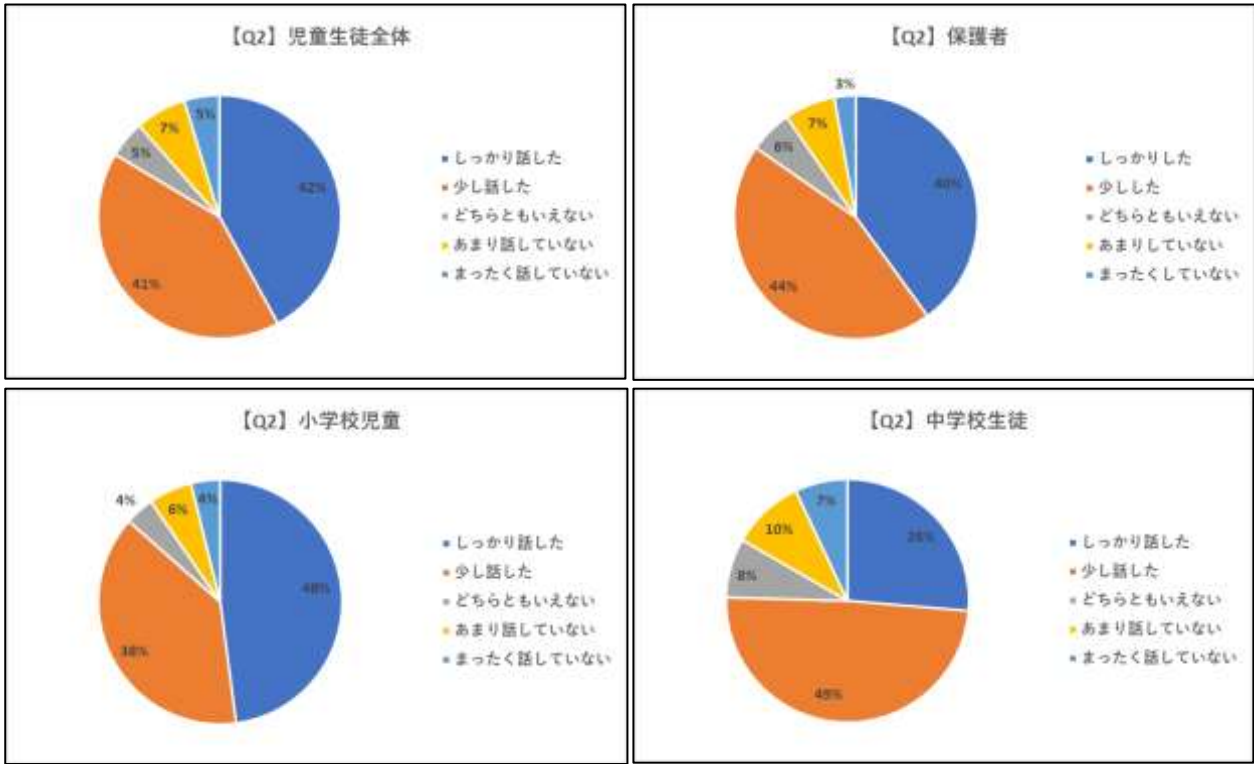
保護者にとっても肯定的な意見は93%を占めており、本リーフレットの内容や意図は伝わったと捉えることができる。

保護者の自由記述に、「低学年には漢字が多く難しい」という意見もあったが、親子で一緒に取り組むことで発達の段階に応じて伝えられたものと思われる。

#### (2) 親子での対話による啓発（活用状況1）

児童生徒 Q2 リーフレットをもとに、情報機器の正しい使い方について、おうちの人と話をしたか

保護者 Q2 リーフレットをもとに、情報機器の正しい使い方について、親子で話ができただか



親子での対話による啓発活動が行われたかどうかについて「しっかり話した・少し話した」と肯定的に回答した割合は、全体で83%、小学校児童86%、中学校生徒75%、保護者84%で、本リーフレットが親子で概ね活用されたことが分かる。

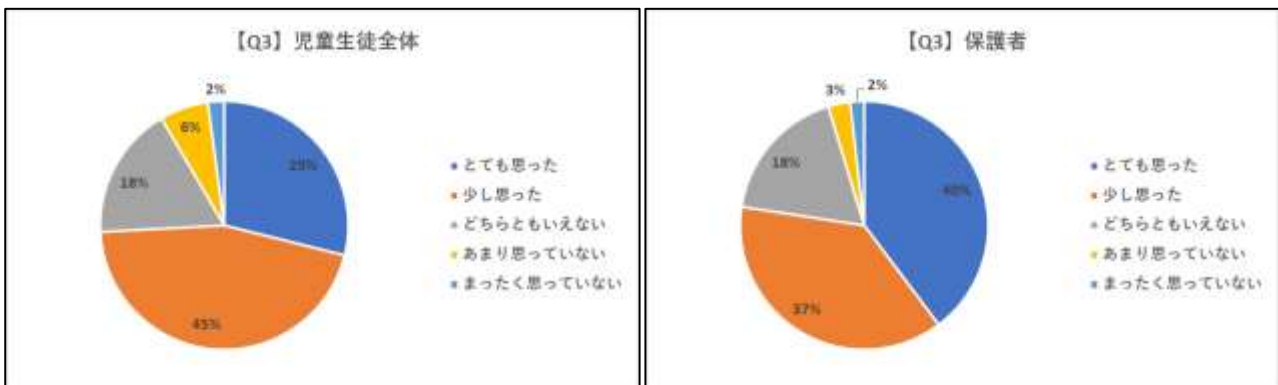
小学校児童の「しっかり話した」が48%であるのに対し、中学校生徒が26%であることは発達の段階も関係しているものと推察される。

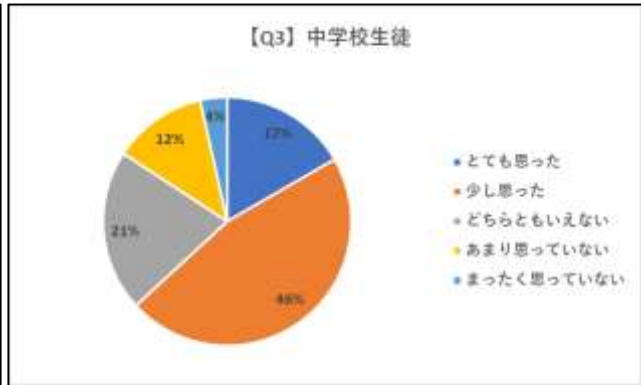
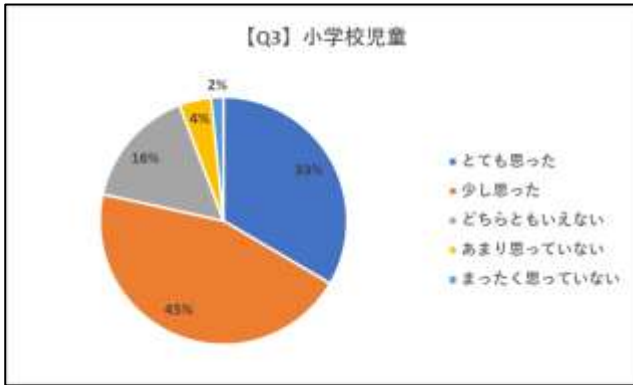
ただ、児童生徒について「あまり話していない・まったく話していない」と否定的に回答した割合が10%以上あることについては、今後の課題である。

(3) 正しい使い方をもっと知りたいか (関心・意欲)

児童生徒 Q3 リーフレットを通して、情報機器の正しい使い方をもっと知りたいと思ったか

保護者 Q3 リーフレットを通して、情報機器の正しい使い方をもっと詳しく知りたいと思ったか





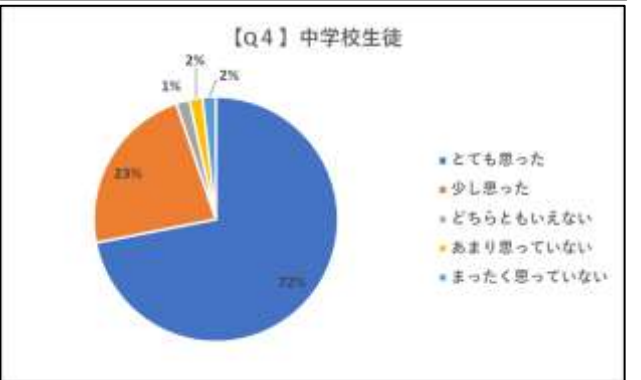
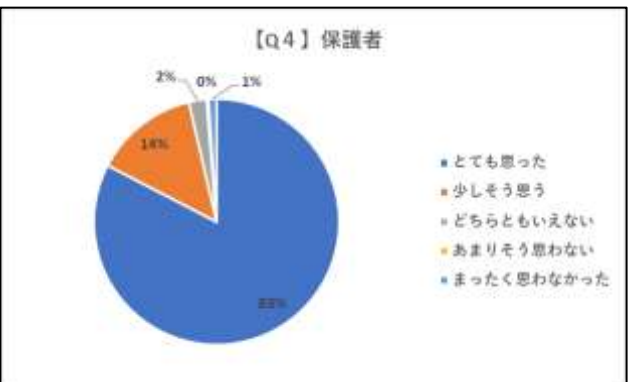
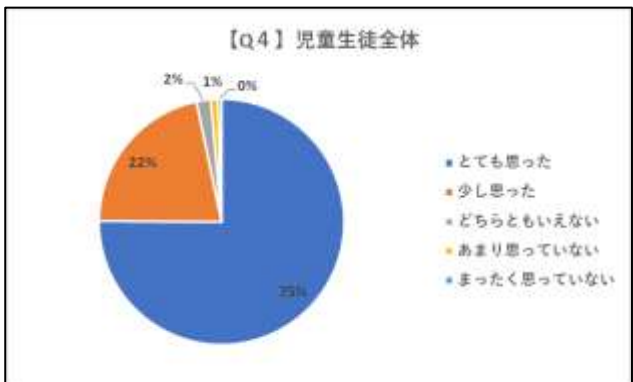
情報機器の正しい使い方についてもっと知りたいかについて、「とても思った・少し思った」と肯定的な回答をした割合は、全体で74%、小学校児童78%、中学校生徒63%、保護者77%であった。

小学校児童の「とても思った」が33%であるのに対し、中学校生徒が15%に半減していることは、発達の段階による知識・技能の差がその要因として考えられる。

(4) ネットトラブルに気を付けたいか (意識)

児童生徒 Q4 リーフレットを通して、ネットトラブルに気をつけようと思ったか

保護者 Q4 リーフレットを通して、お子さんに対しネットトラブルに気をつけさせたいと思ったか



ネットトラブルに気を付けようと思っているかについて「とても思った・少し思った」と肯定的な回答をした割合は、全体で97%、小学校児童97%、中学校生徒94%であった。

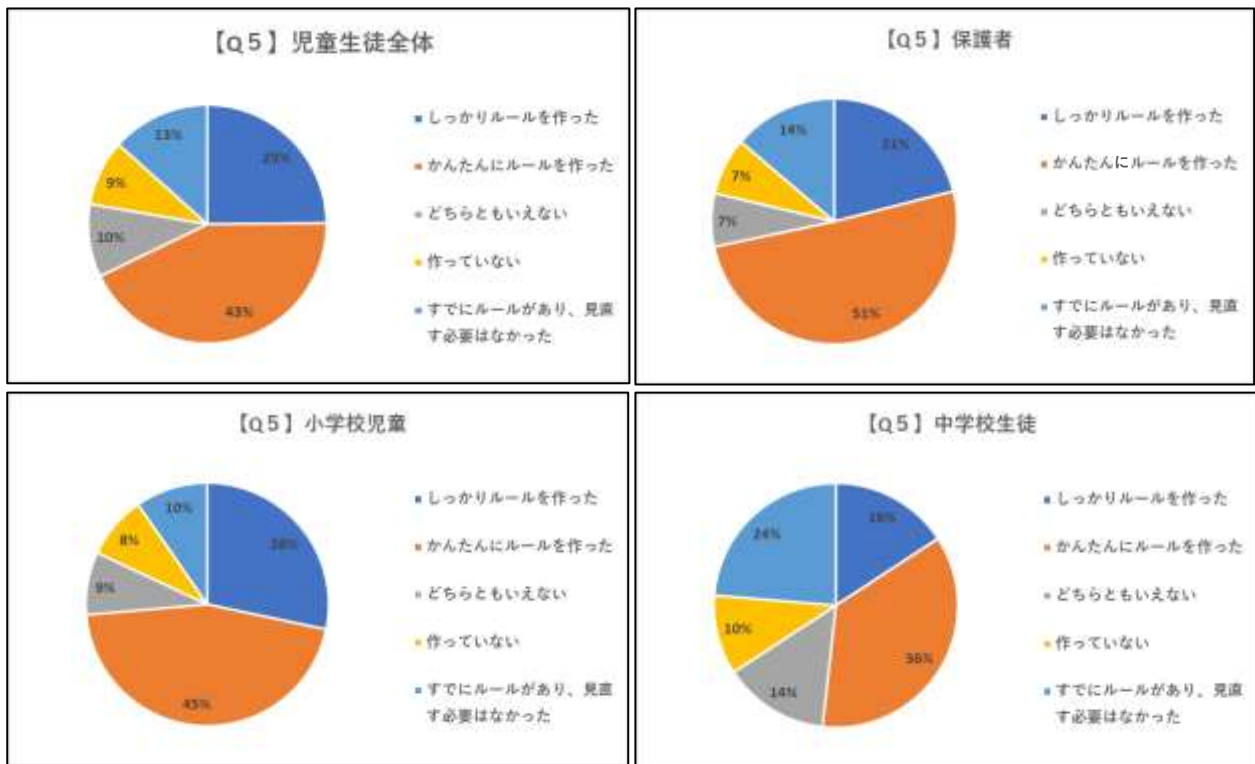
また、子どもに気を付けさせたいという保護者の危機意識については、「とても思った」83%、「少しそう思う」14%と、高い数値を示した。

さらに、他の設問に比べ、児童生徒も「とても思った」と回答する割合が高いことから、本リーフレットによりネットトラブルに関する意識が少なからず高まったものと思われる。

(5) ルール作りまたは見直し (活用状況2)

児童生徒 Q5 リーフレットを通して、家庭内でルールを作ったか (見直したか)

保護者 Q5 家庭内でルールを作ったか (見直したか)



リーフレットを活用してルール作りが行われたかどうかについて「しっかり作った・簡単に作った・すでにある」が、全体で81%、小学校児童83%、中学校生徒76%、保護者は86%であった。

まだルールを作っていない児童生徒が9%程度いることから、さらに保護者向けに啓発する必要性を感じる。

(6) 自由記述より

児童生徒 Q6 リーフレットについて意見や感想があれば記入してください

※○⇒肯定的な意見 ▲⇒否定的な意見 ◆⇒内容や指導についての意見

〈小学校児童〉

- 読みやすい・分かりやすかった。(11)
- 便利だけでなく怖い面もることが分かった。トラブルに気を付けたい。(8)
- 使用する時間や内容に気を付けていきたい。(7)
- インターネットに関するいろいろなことが分かった。勉強になった。(6)
- (親子で)考えたルールを守っていきたい。(4)
- 体にも影響があることが分かった。(3)
- また配布してほしい。(2)
- スマホの使い方を見直すいい機会になった。(2)
- ルールを作りたい。(1)
- お金に関わることなどは、大人と相談しなければならないと思った。(1)
- 情報機器について、安心して使えるようになった。(1)
- リーフレットに書いてあったことを、家族で話したいと思った。(1)
- 今もきちんと守れていることが確認できた。(1)
- このリーフレットをもっと広めた方がよい。(1)
- 読んでよかった。ためになった。(1)
- ▲文字がいっぱいで、分かりにくかった。(1)
- ◆宿題にすれば子供が意欲的に理解する機会になると思うが、配布やアンケートだけだと、なあなあになる。(1)

〈中学校生徒〉

- (イラスト付きで)分かりやすかった。(3)
- インターネットやルールなどしっかり見直すきっかけとなった。(2)
- 依存症等、心と体への影響について知ることができた。(2)
- 危険な事もあることを知り、気を付けようと思った。(1)
- 情報機器の良い点と悪い点があるので、健康に気を付けながら正しく使おうと思った。(1)
- ▲いちいちめんどくさい。(1)
- ◆授業で使う Chromebook の時間を減らしてほしい。以前より視力が悪くなったと感ずるため。(1)
- ◆紙ではなく、情報ツールでも流してほしい。(1)

保護者 Q6 リーフレットについて意見や感想があれば記入してください

※○⇒肯定的な意見 ▲⇒否定的な意見 ◆⇒内容や指導についての意見

- 家族間でルールを決める・話し合ういいきっかけとなった(なっている)。(10)
- 分かりやすかった。勉強になった。(3)

- ネットのルールや怖さを学ばせたい。(3)
- 使用する時はルールやマナーを守って使用させたい。(2)
- 今後も定期的に配付してほしい。(2)
- 自分(保護者)も使用するときのルール・マナーを守っていきたい。(1)
- ネット依存について、子供たちが関心を寄せていた。(1)
- 見ない人もいるんじゃないかと心配になった。(1)
- リテラシー教育は家庭の重要性も高いが、親の方も自分が使いこなすことと子供に使わせることの意味合いの違いが大き過ぎて対処が難しい。(1)
- ▲SNSなどは、やらせなければよい。安全な発信方法を話すより効果的。(2)
- ▲意味がないように感じる。(2)
  - ・すばらしいリーフレットでも、そのメッセージを本人に痛感させ落とし込むことは不可能に近い。
- ▲ゲームやスマホをさせる予定がないので、学校から持ち帰ってきた時にやることがあればいい。(1)
- ▲友達とのやりとりすべてを親が把握することは年齢が上がるに連れて困難。(1)
- ▲子供にもルールを教えるが、もはや子供に教えれば解決することではない。(1)
- ▲親と子を結ぶ機能や年齢制限、時間制限など様々な事ができるのにやっていない親が多すぎる。(1)
- ◆内容が当たり前すぎる。内容が物足りない。(6)
  - ・スマホの契約者は保護者で、子供はスマホを自分のものと思込んでいるようだが、そうではないことを明示した方がよい。
  - ・30分以上は、見てはいけないと記載するべき。
  - ・具体的(深刻)なトラブル例があるとより問題が身近に感じる。
- ◆小学校低学年には、難しい。(4)
- ◆もっと子供に読みやすい文章、分かりやすい内容にしてほしい。(3)
- ◆学校の授業内容や指導に合わせた内容にしてほしい。(1)
- ◆すでにルールを決めている家庭対象の内容も考えてほしい。(1)
- ◆学校でも指導してほしい。(3)
  - ・高学年の子供は親の話を素直に聞けないこともあるので。
  - ・思春期の子供たちにとっては、学校で時間をとってもらった方が客観的に考えられると思う。
- ◆ネット依存について触れている部分が少なかった。(1)
  - ・「依存度チェック」のようなものがあるとよい(今の自分の状態が分かる)。
- ◆「保護者の方へ」となっていたが、子供自身が意識して気を付けなければならない事である。(1)
- ◆今後も注意喚起をお願いしたい。(1)